

学術研修委員会委員長

精神科部長 玉元 徹

平成28年12月5日(月)に褥瘡対策研修会が行われました。講師は、白十字(株)営業本部関西・中四国営業所 第三課係長 川崎一郎さんです。一枚の薄いシートに日本の技術が詰まっていることを認識して、少々感動しましたが、これが諸外国の方々だともっと感動したことと思います。我々日本人は当たり前のように製品の特徴を学習する方が多いと思います。それは、より患者さんのためになるにはどういったものが必要があるかということを必至に考えれば考えるほど、日本の技術の素晴らしさに思いを馳せることは少なくなると思います。今回も私は研修会を聴講している間、当たり前のような気持ちで褥瘡対策関連の製品の特徴を学習していました。こういった技術がある日本の医療において、私達はその製品を使用する有り難さも考えながら患者さんのケアをしていくことが大切な気がしました。

平成28年12月12日(月)には、

行動制限最小化研修会が行われまして、講師に例年通り高知県立あき総合病院、精神科認定看護師の奥村清さんをお招きしました。奥村さんは年に1回ではありますが、特に今回は1ヶ月にも満たない期間で準備していただいたにもかかわらず、新しい内容が多く、全職員に気を配るような内容も盛り込んだわかりやすい講演をしていただきました。また、あき総合病院の精神科病棟の身体拘束のあり方について具体的にどこまでが身体拘束に当たるかということも聞くことができたことは今後の当院の精神科病棟運営に非常に有利なものとなりました。ありがとうございました。当院は病棟と外来及び精神科デイケアを含めると、精神科の患者さんは全患者さんの1/3以上を占めておりますので、当院でも精神科認定看護師が育っていくことを祈りたいと思います。

褥瘡対策研修会
創傷被覆材について
 ～モイスキンシート・
モイスキンパットの使い方～
H28.12.5(月)
 白十字(株) 営業本部関西・中四国営業所
 第三課 係長 川崎 一郎氏



行動制限最小化研修会
南国病院 多目的ホール
H28.12.12(月)
 高知県立あき総合病院
 (社)日本精神科看護協会
 精神科認定看護師 奥村 清氏



南国市消防署
指導による
消火・避難訓練
 南国病院本館 &
 在宅医療支援センター
H28.12.20(火)

統括管理部長 梅原 浩一

平成28年12月20日に南国市消防署より2名の担当者を派遣していただき、南国病院と在宅医療支援センターで、消火、避難訓練を行いました。今回、避難訓練は職員を患者さんに見立てて行いましたが、実際に患者さんを避難させるのは非常に難しいと、初めて訓練に参加した職員は実感していました。

初期消火、連絡、誘導など一連の流れは比較的スムーズに出来たと思いますが、あらかじめ想定された

訓練計画に基づくもので、実際に発生した時には訓練通りには出来ないであろうという不安もありました。消火訓練は職員も参加し、水消火器を使って行いましたが、ほぼ全員指導どおりに出来ていました。

実地訓練終了後、消防署の担当者より、消火器等は職員個人が使えるようにすること、実際火災が発生した際には煙に十分注意することなどを教えていただき、毎年訓練を継続し職員全員が新たな気持ちで心構えすることが大切であると再認識しました。



秋の交流会

南国市
スポーツセンター

H28.11.10(木)



精神科デイケア室 看護師 山崎 礼華

秋の交流会では、様々な病院やデイケアの方とふれあう機会ができ、楽しく過ごす事ができました。ソフトバレーでは、試合に出ないメンバーも応援グッズを持って行き、観客席から熱い声援を送りました。結果は惜しくも海辺の杜ホスピタルチームに負け、去年に続き準優勝という結果でした。試合では、お互いに遠慮してしまったり連携が取れていない部分、また緊張してしまい思うように動けなかったりした部分がありました。今年こそは、秋の交流会までに力を合わせ練習に励み優勝したいと思います。

メンバーK.Yさんより

交流会はとても楽しかった。
またやりたい。
そして、
準優勝をできるだけ続けたい。

メンバーさんより

12月9日にフレンドカップがありました。
ボッチャの大会に南国病院デイケアから
5チーム出場、
2位、3位、4位と上位を独占しました。
私のチームは予選ゲームで起死回生の大逆転をし、
午後からの決勝へ進出。
チームメイトに助けられ堂々の3位を獲得、
嬉しい結果が残せました。

第9回 フレンドカップ

くろしおアリーナ
H28.12.9(金)

精神科デイケア室 作業療法士 今城 恵理

平成28年12月9日(金)、第9回フレンドカップに出場してきました。今回もボッチャ競技に5チーム計15名が参加してきました。今回も参加チームは多く、予選にて勝ち残らないと決勝トーナメントにいけないというハイレベルな戦いでした。当デイケアからは5チーム中、4チームが決勝トーナメントに進むという好成績で準決勝や3位決定戦では、当院同士が当たるというような状況にもなりました。結果としては、2位から4位を当院のチームで占めるということになりました。決勝では惜しくも海辺の杜ホスピタルのチームに負けてしまい悔しい思いをしたことでしたが、2位から4位までを当院のチームになったということで、参加したメンバーはとても喜んでいました。ボッチャは年齢関係なく行える競技でもあるため、毎年フレンドカップには参加しています。フレンドカップが近くなるとデイケアホールにコートを作り、熱心に練習しています。今回の成績も練習の成果が発揮されたものだと思います。今後も継続してボッチャを行い、来年こそは優勝を目指していけたらと思っています。

